

後期基本計画 令和元年度 基本施策方針評価書

政 策 : 02 健やかで笑顔にあふれるまち

基本施策 : 06 健康づくりを支える保健の充実

主管課長職・氏名	健康推進課長 猿舘睦子
関係課長職・氏名	保険年金課長 田沼政司、地域包括支援センター所長 滝田律子、児童福祉課長 田村真弓、生活福祉課長 菅原栄一、地域福祉課 舘澤俊幸、健康づくり政策課長 正木賢

1. 基本施策の令和元年度までの実現状況を明らかにする

(1) 基本施策が4年間でめざす姿

第1次滝沢市総合計画では、「幸福感を育む環境づくり」を目指すこととしています。市民が幸せを考えるうえで最も重要な要素は「健康」です。市民が幸せを感じながら笑顔で暮らすためには、「心身の健康」は大切な条件の一つであり、病気や障がいがあっても個々の考える健康の実現は、その人らしく豊かな人生を送るために重要です。市民一人一人が健康に関心を持ち、主体的に健康づくりに取り組めるような環境を目指します。また、安心して妊娠・出産・子育てができるよう、切れ目ない支援体制づくりや取組みの推進を図ります。

(2) 基本施策目標値の達成状況

No	この基本施策に関わる基本施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 4年度	進捗率(%)
1	暮らし 自分が心身ともに元気と感じている人の割合 単位 %	58.4	59	60	61	62	62	B
			60.7	-	-	-	-	63.9
2	幸福 健康づくりに取り組んでいる人の割合 単位 %	61.3	60	61.5	63	65	65	C
			62.7	-	-	-	-	37.8
3	暮らし 子育ての悩みや不安を相談できる人がいる（いた）人の割合 単位 %	68.5	63	64	65	66	66	D
			63.3	-	-	-	-	208.0

(3) 基本施策を構成する施策及び目標値の達成状況

No	施策名 施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 4年度	進捗率(%)
1	暮らし 02060100 望ましい生活習慣の定着 自分が心身ともに元気と感じている人の割合 単位 %	58.4	59	60	61	62	62	B
			60.7	-	-	-	-	63.9
2	幸福 02060100 望ましい生活習慣の定着 健康づくりに取り組んでいる人の割合 単位 %	61.3	60	61.5	63	65	65	C
			62.7	-	-	-	-	37.8
3	暮らし 02060200 安心して子どもを産み育てるための支援 子育ての悩みや不安を相談できる人がいる（いた）人の割合 単位 %	68.5	63	64	65	66	66	D
			63.3	-	-	-	-	208.0
	単位							
	単位							

後期基本計画 令和元年度 基本施策方針評価書

政 策：02 健やかで笑顔にあふれるまち

基本施策：06 健康づくりを支える保健の充実

主管課長職・氏名	健康推進課長 猿舘睦子
関係課長職・氏名	保険年金課長 田沼政司、地域包括支援センター所長 滝田律子、児童福祉課長 田村真弓、生活福祉課長 菅原栄一、地域福祉課 舘澤俊幸、健康づくり政策課長 正木賢

2. 基本施策の実現に向けての令和元年度までの取り組み状況を分析する

(1) 基本施策目標の達成（実現）に向けた計画期間内の取り組みと方針についての達成（実現）状況

B	概ね達成した
<ul style="list-style-type: none"> ・保育園等での塩分測定器貸し出しによる減塩等良い食習慣の意識づけ、歯周疾患検診の実施、地域の連絡会等での喫煙による健康影響の情報提供など機会を捉えて、健康づくり宣言の行動指針の啓発に努め一人一人の健康づくりの意識を高めました。 ・がん検診については、大腸がん、子宮がん、乳がんの検診が前年度より受診率が向上しました。 ・保育園と連携した食育推進事業や企業の健康づくり事業を通じて、若い世代が健康づくりに取り組む動機づけにつながりました。 ・思春期保健事業を実施し、命の大切さや健全な母性父性を育むための働きかけを行いました。 ・妊娠、出産、育児期においては、子育て世代包括支援センターを中心に、乳児家庭訪問事業をはじめとした育児支援事業を実施し、安心して出産を迎え、子どもが健やかに成長発達できるよう、また保護者が安心して子育てできるよう継続して支援を行いました。 	

(2) 基本施策内の取り組みと方針のうち、令和元年度の重点課題の達成（実現）状況

A	達成した
<p>【重点課題】・高血圧予防や重点取り組みである6つの行動指針の啓発・壮年期の若い世代への健康教育の実施・子育て世代包括支援センターの体制整備、新生児聴覚検査費用助成事業の円滑な実施</p> <p>【達成状況】・保育園等での塩分測定器貸し出しによる減塩等良い食習慣の意識づけ、歯周疾患検診の実施など機会を捉えて、健康づくり宣言の行動指針の啓発に努め一人一人の健康づくりの意識を高めました。</p> <p>・保育園と連携した食育推進事業や企業の健康づくり事業を通じて若い世代が健康づくりに取り組む動機づけにつながりました。</p> <p>・子育て世代包括支援センターの支援体制の強化に努めました。</p> <p>・新生児聴覚検査助成事業を開始し難聴の早期発見につながる体制を整備しました。</p>	

3. 基本施策の実現に向けての令和元年度実施後での変化を認識する

(1) 基本施策の実現に影響する社会環境変化

B	社会環境変化あり
<p>【外部環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業実施において、新型コロナウイルス感染症拡大防止に関する対策の必要性 ・健康増進法の改正による喫煙環境の変化 ・超高齢化社会を見据えた若い世代からの健康づくりの必要性 ・未婚や若年妊婦等、リスクを抱える妊婦が増加傾向にあり、産婦健診や産後ケアの必要性が増大 ・健康課題の多様化、支援を必要とする処遇困難事例が増加 	

(2) 政策との関連性から基本施策の見直し

A	必要なし
<ul style="list-style-type: none"> ・基本施策「健康づくりを支える保健の充実」の実現のため、引き続き同一内容の施策が必要であるため、見直しの必要はありません。 	

4. 基本施策の実現に向けての今後の取り組みと方向性を明らかにする

(1) 令和 3年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

B	課題あり
<p>【今後の方向性】・一人一人の健康づくりの意識を高めるため、引き続き、機会を捉えて健康づくり宣言の行動指針の啓発に努めます。</p> <p>・健康無関心層や若い世代へ健康づくりの動機づけができるよう、地域、団体、企業と連携を深め、より具体的な健康づくりの事業を進めます。</p> <p>・支援が必要な妊産婦、乳幼児家庭の課題が複雑化、多様化しており、妊娠期からの切れ目ない支援体制を強化する必要があります。</p> <p>【引継ぎ課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種検診の効果的な受診率向上に向けた取り組み ・自殺対策推進のための体制整備 ・産前産後ケアや産婦健診の実施に向けての検討・準備 	

